



2024年度 市政懇談会
＜町田市町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年11月11日(月) 10:00 ～ 11:45

[場所] 町田市民フォーラム ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
町田市町内会・自治会連合会 会長代行 中 一登

○ 連合会長の挨拶

町田市町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 モノレールの早期実現

【都市づくり部】

2 いちのいち無償化のお願い

【市民部】

3 境川の洪水対策

【下水道部】

4 空き家対策

【都市づくり部】

5 公園樹木の病虫害対策について

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田市町内会・自治会連合会 副会長 平本 勝哉

2024年度 町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録(要旨)

[日 時] 2024年11月11日(月) 10:00～11:45

[場 所] 町田市民フォーラム ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一
都市づくり部長 萩野 功一
都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳
下水道部長 守田 龍夫
市民部市民協働推進担当部長 横山 法子
町田市町内会・自治会連合会長 ほか68名
事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長
町田市町内会・自治会連合会会長代行

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 モノレールの早期実現

多くの町田市民が期待する多摩都市モノレール町田方面延伸計画は、2021年度にルートが決定し、さらに昨年には木曽地区から町田市民病院までの基盤となる新しい道路が開通しました。ただ新ルートとなった小野路については今後どんな進展があるのか、これまで市民向けの発表はありません。

一方、市民病院から原町田大通りのルートは用地買収が難航する恐れがあります。このような困難を乗り越えて、以前市当局が発表した2032年完成目標は、どのようなスケジュールで達成されるのでしょうか。

特に小野路～野津田競技場～図師までの導入空間となる都道の整備については東京都に強く働きかけをお願いします。また今後は少なくとも1年間に一回程度は市民向けの進捗状況説明会を開催していただきたい。

【回答】

都市づくり部長

1の「モノレールの早期実現」についてお答えします。

まず、「新ルートとなった小野路については、今後どんな進展があるのか」についてですが、モノレール導入空間として、小野路宿通りの南側に並行して計画されている町田都市計画道路3・4・22号の整備が必要となってきます。小野路町周辺については、この都市計画道路を含むモノレール導入空間の道路整備によって、多摩市方面への交通ネットワークの充実、周辺の交通渋滞の緩和等、道路交通の円滑化に繋がると考えております。

次に、「2032年度完成目標は、どのようなスケジュールで達成されるのか」についてですが、モノレール整備の事業主体である東京都の小池知事は、先行して進める箱根ヶ崎方面延伸について、「2030年代半ばの開業を目指す」と公言されております。

また、今年7月の都知事選挙の公約として、「多摩都市モノレールの更なる延伸」と、「町田方面延伸の決定に取り組む」ことも掲げております。

このことから、町田方面延伸は、現状において箱根ヶ崎方面延伸より、開業が5年程度遅れると見込んでおります。

市としましては、引き続き、東京都への積極的な働きかけと、連携を図り、町田方面延伸の早期実現を目指してまいります。

モノレール開業までの手順としましては、今後、東京都が事業費算定、需要予測、収支採算性の検証等を行い、事業化の判断を行います。事業化の決定後、モノレール整備に当たっての地形調査や基本設計、及び都市計画決定の手続き等を進めます。その後、都市計画道路の整備状況を勘案しながら、モノレールの軌道、駅舎の整備等が行われ、開業を向える流れとなります。

次に、「導入空間となる都道の整備についての東京都への働きかけ」についてですが、小野路、野津田公園西側を通過して並木交差点に至る区間をはじめ、導入空間となる都道整備については、モノレール早期延伸の実現に向け、引き続き、東京都に対して、強く働きかけてまいります。

最後に、「進捗状況説明会」の開催についてですが、モノレール延伸の事業主体が東京都のため、町田市から積極的に開催しますと申し上げることは難しい立場ですが、市民の皆様にもモノレールの進捗状況をお伝えすることは、大切なことだと考えておりますので、市政懇談会での場も含め、機会を捉え進捗状況について、説明する場を設けてまいります。

《質疑》

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

最後にありましたように、年に2回ぐらひは進捗状況や今後の見通し等をお話しいただければありがたいと思います。

原町田五丁目町内会

私はシルバー人材センターに入っていて、駅前の清掃をしょっちゅう実施しています。もしかしたらモノレールとは直接関係がないかもしれないのですが、モノレールは市街地の再開発と関係があるはずだと思います。当然、そのように従来から説明されていると思います。お願いがありまして、お話しさせていただきたいと思います。

今、部長さんからご説明いただきまして、ありがとうございます。私はシルバー人材センターで仕事をしておりまして考えていることなのですが、まず1点目として昼間から客引きがいるのです。こんな町であっていいのかと私は思います。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

お話し中、申し訳ないのですが、その件についてはまた他のところでお話ししてください。

原町田五丁目町内会

ぜひそのことを検討してもらいたいと思うのです。モノレールをやって市街地を再開発する前に、今の町をきちんとするということを検討していただきたいと思います。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

今の質問は承って、次の市政懇談会等で話をさせていただきたいと思います。

中町中央町内会

モノレールの早期実現という提案をします。一番問題は、あそこの市街地、駅に来るタクシーが困難になっているところが触れられておりますが、やはり人口密集地であります。私の町内会もそうであります。市民病院まで開通しました。うちの町内会としては、火災等のときに消防自動車がすぐ駆けつけてくる。こういう大きな道路をモノレール道路として、これが一番困難になっているのが芹ヶ谷公園を通すルートは、今も工芸美術館の問題で緑をなくすなどということで大きな反対運動があります。再三道路部長がお話ししていると思いますが、市民病院からぐっとルートを曲げて町田街道を拡張して町田駅のほうに入るというルートの検討をしていただきたい。といいますのは、小野路のほうは最初はAルートだったのをBルートに曲げて変更しました。町田駅のほうは、わざわざ芹ヶ谷公園のほうに回すのではなくて、あそこは谷地になっていますから大変な工事になると思います。だから、町田街道を通したらどうですかという提案をさせていただいておるんですが、いかがでしょうか。

都市づくり部長

今のお話は、現在の町田街道にモノレールを通したほうがいいのではないかとということだと理解しました。現在、市民病院まで道路が完成し、その先の予定ルートは協和キリンの裏を通過して、サン町田旭体育館の裏、町高の裏、二中の前を通過して、芹ヶ谷公園で折れ、原町田大通りへ入るルートを選定しています。モノレール導入に当たっては、25m程度の道路幅員が必要になり、現在の町田街道のルートだと道路幅員が足りません。既に原町田大通りから芹ヶ谷公園までの部分については、町田市が東京都から委託を受けて、みちづくり・まちづくりパートナー事業という仕組みで都市計画道路の整備に入っています。現在、用地買収をしており、説明会等も既に何度も開催しております。東京都の考えているルートは、このルートでいくことになっており、町田街道を拡幅するには、新たに都市計画の変更をしたり、沿線にマンション等もありますので、相当硬い構造物の撤去が必要になります。そういう意味では、新たに都市計画を変えるのではなく、町田街道のバイパスとして整備していく予定の都市計画道路3・3・36、市民病院の前まで開通した道路の名前ですが、それを進めるのが妥当ではないかと判断しています。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

いろいろな問題がこれから出てくるだろうと思いますが、情報交換しながら進めていければいいかと思います。できるだけ早くというのが皆さんの要望ですので、しっかりと交渉をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

原町田五丁目町内会

まず、町田市にモノレールがふさわしいかという根本的な問題がちゃんと審議されているのでしょうか。モノレールありきで進んでいますね。モノレールというのは、一番最初に計画ができたのは45年くらい前になります。そのときには町田市の北部も、多摩ニュータウンの一部に乗り入れようという案があり、そのときにモノレールを町田まで延ばしましょうという案ができたのです。しかし、URの関係で多摩の一部に繰り入れようというのは廃案になりました。そのときにモノレールもきちんと廃案にすればよかったのですが、それだけ案が残ってしまったので、いまだにいいものが来るみたいに市民は思っているかもしれませんが、あの構造を考えてほしいのです。高い橋脚を立てて、その上を走るわけです。道路も都道として25m必要です。だから、工事そのものが大変だということと橋脚のためにとっても資金がかかります。

既に10年以上前に国土交通省の方の講演で要旨としては町田市にはモノレールは必要ないということをはっきりおっしゃっているのです。そんな大が

かりな構造物を造る必要はない。これからは人口減少の時代である。高齢化の時代である。だから、モノレールはそぐわないということをはっきりおっしゃっています。議事録にもあります。そういうことを一切無視して、とにかく町田にはモノレール、モノレールで突っ走っているのは理解できません。

3 km増えてS字型に延びました。延びる前から既にモノレールは、今、在来線を乗り継いでいったほうが時間もかからない、料金も安い。だから、本当に町田市にとってメリットはないのです。特に町田市は地形の起伏が激しいですから、それだけ工事費もかかります。小田急線も越さないといけません。芹ヶ谷公園も真ん中を突っ切るような形になります。深い谷を渡るわけですから、地上から30 mぐらいの高さになるわけです。小野路も起伏が大きいので、モノレールというのはパーミルが100は取れないのです。だから、結局、あそこも30 mぐらいの高い橋脚をかけなければ走れないことになります。

これから全てこの先、間違えますよ。私が言いたいのは、これからの人口減少、高齢化時代に町田市にとって一番いい公共交通は何かということ、まずそこからスタートして、LRTがあります、BRTがあります、小ぶりのものとかいろいろ発達している中に、どうしてまだ大昔の大がかりで大げさな交通機関、とても不合理なものをいつまでも担いでいなければいけないのか。それはきちんと市のほうでも審議すべきではないですか。それを乗り越えてモノレール一辺倒でやっているのがおかしいというのが何よりも最初に言いたいことです。モノレールが何よりもいいということを皆さんがちゃんと理解して、市民も理解して、もちろん市の方もちゃんと検討して、それならば賛成です。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

最初にモノレールのことを連合会としてお願いしたときに、いろいろな話が出まして、今の状況になっていますので、ご理解いただきたいと思います。

原町田五丁目町内会

状況に合っているということを説明していただきたいのです。

原町田五丁目町内会

40年も50年も前の考え方と今の考え方はずれているのではないですかということだから、若干そこら辺の見直しも必要ではないですかというので彼女は提案をしているだけです。ただ、これを進めるために、全ての投資効果が出てくると、これを完成するときは、37年か40年でしょう。15年先のことに皆さん責任を持てますかという話です。市長さんは、レガシーとして残せるからいいかもしれないけれども、受ける市民のほうの影響は考えていますかという感じだと思うのです。硬直的に考えているから、それを進めなければいけないというのは、市役所としては当然の行為だと思うけれどもというふうに

おっしゃっているわけです。もう少し見直しをしてください。私はどちらでもいいですけれども。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

お話し中、申し訳ありませんが、よろしいですか。

原町田五丁目町内会

議論したから終わりだという話ではないと思うのですけれども、やはり見直しは必要ではないですか。そのためには市政懇談会を開いて、この時点でこうだけでも、どうですかというのが常に必要だと思います。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

お話をするとかしないではなくて、進めていくにあたっては、こういう状況ですよということを皆さんに知っていただければと思います。

原町田五丁目町内会

戻すわけではないです。見直しをしていくということは、別に戻すわけではないでしょう。もっと別な形でのモノレールが設計に導入されればいい話だから。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

要望として承っておきます。

2 いちのいち無償化のお願い

町田市町内会自治会連合会では昨年に引き続いて“デジタル化”を重点目標にしています。その中心が東京都の推奨で町田市と一緒に採用した“いちのいち”です。今の小中学生が大人になるころには、町内会自治会の回覧板や掲示板は無くなるでしょう。地域の町内会自治会活動も、もっと迅速かつスムーズにできるように変化しているでしょう。

一方町田市の行政サイドもデジタル化を推進しています。ただ残念ながら高齢化がすすむ町内会自治会の中高年層に新しいソフトを普及させるのは容易なことではありません。かなり長期間に渡って、紙ベースとデジタルとの2重の活動を続けなければなりません。

今年度は市のご協力で利用料が無償となりましたが、もっと長期的に普及を促進できるように無償化の措置をお願いします。将来は行政サイドと町内会自治会を核とする市民一般と一体となってデジタル化を進め、スムーズに情報交換ができるようにしていただきたい。行政内部だけでデジタル化を進めても、行政の効率化は進んでも、全体として魅力ある町田市にはならない

のではないのでしょうか？

【回答】

市民協働推進担当部長

皆様には日頃から町内会自治会活動をはじめ地域にご尽力いただき、ありがとうございます。

デジタル町内会「いちのいち」は会員同士の交流や情報発信のツールとして、2022年9月に導入しました。

「いちのいち」の導入や普及に当たっては、町内会・自治会連合会の方々に多大なるご協力をいただいております。2024年10月末には、市内全310の町内会・自治会の半数に当たる156団体が導入し、登録者数は5000人を超えております。おかげさまで、導入初年度の2倍を超える登録者数となりました。

現在、半数以上の町内会・自治会に「いちのいち」をご活用いただいているところですが、ご指摘のとおり、さらに多くの皆様にご活用いただくには時間がかかることは理解しております。

そのため、システム開発元の小田急電鉄とは定期的に「いちのいち」の操作性など改善すべき点について打合せする機会を設け、町内会・自治会の費用負担についても協議しているところでございます。

コロナ禍以降、社会のデジタル化は急速に進み、市民生活のあらゆる場面で革新的な技術が登場しております。「いちのいち」をはじめとする町内会・自治会のデジタル化につきましては、行政と市民が一体となって進めることで、効果が得られるものと認識しております。

今後も、町内会・自治会連合会と連携して、町内会・自治会のデジタル化を支援するとともに、国や東京都等のデジタル化支援情報につきましても速やかに情報共有していきたいと考えております。

《質疑》

金森三丁目町内会

私から4点ほどに絞って、いちのいちの無償化について提案をさせていただければと思います。

まず初めに、費用負担で言えば、小田急さんも実際にいつまでも無償でというのは難しいかなというのは理解するところです。昨年、私から広告の利用はどうでしょうかとお話しさせていただきました。小田急さん自身の広告を載せていただく、もしくは例えば近隣企業の広告を取って、広告費としてそれを運営に利用してもらおうということで、費用を負担することができるのではないかと昨年、提案しました。嫌いな人もいるので、なかなか難しいですよというお話があったのですが、町田市自体も「広報まちだ」に広告を取

ったりしているのです。決して方向性と矛盾するものではないとは思っています。

2点目ですが、広告費用で運営費用を賄うこと以外にも広告費用の効用が、私の友人等でもSNSの利用の動機が友達と交流したいとか、何かを見たいというものではなくて、広告が載ってくるから見たいという人がいるのです。自分の好きなブランドの新しい情報が出てくるといった利用の仕方です。登録して来る人たちがいるわけですから。私たちの町内会は120世帯程度で、既に65ぐらいの登録者があるところですから。実質的な世帯数の割合で言うと、3割～4割程度ではあります。これ以上の認知を考えたときに、地域コミュニティ活動等に理解がある方たちは既に登録されているので、どんなに同じ方向でプッシュしても響かないのです。だったら、むしろ欲情をくすぐるといえるのか、お金のインセンティブで入って来てもらう層に認知してもらうためには、広告で特売情報であるとか、加入者独占という形で引っ張ってくるしかないのではないかと考えています。なぜそのようにしてまで広げたいかという、防災に利用したいからなのです。町内会活動に理解がある人だけを救済すればいいかという、そんなことはなくて、全然関心のない人たちに対しても情報共有していく必要があるということで、今までは違う層にまで向けた認知ということで広告が使えるのではないかと考えています。

3点目に防災に関してですが、防災関係で防災課に相談に行った際に、2年ぐらい前で導入当初なのですが、いちのいち等を使って積極的に防災情報を出してもらえないか。もしくは防災の申請等をいちのいちのインターフェイスでやれないのかという相談を持ちかけたところ、防災課は、額縁に入れたいようなお役所答弁で、うちはそういうのは全然関係ないのですの一言でした。いちのいちにはネットワーク機能を持っているので、今、旗振り役として市民協働推進課が積極的に推進の活動をやられていますが、他部署、例えばいろいろところが申請だとか市民とのやり取りがある中で、いちのいちを使って双方コミュニケーションを取って、例えば連合会でもデジタル化と言っていますが、防災資料は全部紙で当日に渡ってくるのです。だから、早い段階でいちのいちで全部配ってくれれば、事前に内容を精査して、例えば前回の総会の際にも返信ミスなどがあつたのは当日知ったり、ばたばたということもなくなるかと思うので、そういった情報共有をデジタル化して積極的にやるという意味でぜひ市役所としても入っていただきたい。

その上で4点目としては、広報課みたいなところがハブとして入ってもらって、関係部署との間で部署横断的なタスクフォースみたいなものをつくってやっていけば、例えば市の行政手続等の一部をいちのいちで負担させるような形での利用法を小田急に全面的に出していけば、小田急はパワーがあつて、交渉力も上がるのではないかと考えています。小田急の不動産等も、日経新聞のインタビューで既に北海道から沖縄まで、沿線を超えて700程度の町内会の

利用があると豪語していましたので、その程度のインフラを想定しているのであれば、費用負担をクリアして、無償の考え方で自治体ニーズが蓄積していくという方向性をお願いし続けるのは難しいことではないのではないかと思っています。

市民協働推進担当部長

ありがとうございます。最後にお話しされていた小田急さんが全国を、特に今、関西方面も結構手広くやっているところはあるかと思うのですが、昨年、小田急さんのいちのいちが総務省の実証事業ということで認められていますので、全国10市町村、おっしゃるとおり、北海道の美瑛町から沖縄県の浦添市まで10市町村で実施されているということで、多分自信の現れなのかと思います。

最初のお話になりますが、SNSでも広告を使うことで相当広がるのではないかということはおっしゃるとおりなのですが、昨年もお話がありまして、昨年、最初に広告を入れたときに嫌がる方もいらっしゃるということで指摘がありました。その辺も含めて小田急さんにも話をしてみたのですが、小田急さんもそのときのハレーションの記憶が相当残っておりまして、少し難しいかなということでは聞いています。ただ、おっしゃるとおり、SNS等で広告を入れるのは賛否両論ありますが、加入に関する一つの動機の可能性にはなることは承知しています。

先ほど防災等他との提携というところもご提案をいただいております、おっしゃるとおりだと思います。いちのいちというのは、市民協働推進課だけで進めても、利便性はありますけれども、市の中で連携することで、もう少し広がりを見せられることがあるのかと思うので、その点については、ほかの課でものれるところがあるのではないかとということをお話をしているところです。まだ実現はしていませんが、確かに防災の面等では親和性があるかと思っています。

先ほどの連合会の総会の資料の件については、今年の総会の際にもご提案をされていたかと思しますので、そのあたりは連合会と一緒に調整をして、どのようなやり方があるのかということは協議していきたいと思ます。

滝の沢自治会

1点質問ですが、先ほど町田市で156団体、50%、半分ということをおっしゃっていたのですが、5000人強というのは全自治会員の何%になるのですか。

市民協働推進担当部長

全体で今、8万人ぐらいだということですので、それから比べると5000人というのは威張れるほどではないのかというところはあるかと思いません。

滝の沢自治会

団体の数で比較するのではなくて、自治会員の数で比較したほうが、どれくらい普及しているかが分かると思うのです。50%というと、半分も行っているのねというのと、8万人ということですから、全自治会員の中の7~8%では全然違いますね。そういう表現を加えてほしいです。

市民協働推進担当部長

ありがとうございます。今後、そのような話があったときには、その辺の対比ができるような表し方をしたいと思います。

ガーデンセシア自治会

今、市で一生懸命やってもらっているのです。問題は、それを受ける我々なのです。町内会・自治会、私たちがこの課題についてどういうふうにつえたらいいのか。今、質問がありましたパーセンテージ、私のところの戸数は686世帯あります。実際は入っている人たちは正式に言うと239です。いちのいちが260名ぐらいだと思います。なぜかというと、夫婦で一人一人入っている人、防災の関係と町内会の資料ですとか、今年で言うともなくクリスマスになるのでクリスマスツリーを飾りますとか、教宣活動です。あるいはごみを拾いますから、皆さん、ご出席してくださいというものも含めてそこに提示しています。私も年です、スマホは苦手です。私自身も、デジタルというのは人に優しいというけれども、よくよく考えると我々年寄りというのは苦手です。これは率直なところですが、でも、それを何とか我々町内会・自治会の役員がフォローするような機会を設けるだとか、市と連携しながら広げることを考えていかないと、この問題は全然進みません。我々自身を取り残されます。それで私は悩んでいます。

市のほうは、確かに無償の関係もあります。小田急さんがやっていただかなければなりません。ただ、私が言いたいのは、それを受ける私たち側自身に、もうちょっと前が出る。70、80の人にスマホのことを言うことは難しいですよ。でも、その窓口を広げるのは市ではないです。町内会・自治会の我々役員なのです。ここを今日の会議の中で、私はまだ1年しか自治会長をやっていませんけれども、そんなことで事実悩んでいるのです。なかなか広がらない。でも、そこを今やっていかないとまずいというのが実は今、若い人たちと話して、どうやったものだと、それが現実の話なのです。

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

各町内会、あるいは地区で勉強会や説明会等をしてきましたが、まだこのような状況です。さらに進めて情報が素早く皆さんで共有できるようにしていきたいと思います。東京都からの助成があり、申請すれば機械等も、あるいは説明会等もしてくれます。いちのいちについては、さらに我々は意見を集約しながら市にお願いしていきたいと思っています。

3 境川洪水対策

今年も台風シーズンをむかえ、境川流域の住民は氾濫の危険性に不安な日々を過ごしています。日本は温暖化が進み、すでに年の大半は亜熱帯化していると言われていています。台風は大型化し、雨量は激増しつつあります。すでに自然環境は変化しています。現在、いかにこの新しい環境に適応するのか、が問われています。

町田市の大きな問題は、境川の治水です。境川は流域によって東京都と神奈川県との責任分担が分かれています。東京都の分担する流域では、現在でも二つの調整池の工事が進み整備されつつありますが、神奈川県分担部分では遅延として整備が進んでいません。

特に下流の藤沢市近辺での流下能力のネックが解消されていません。ただ、そのネックの一つであった、相鉄線との交差部分は現在改良工事が進みつつあり、流下能力が増加する予定です。ただ、もう一つのネックである藤沢市街地の流下能力の改善は全く手つかずの状態です。川下が危ないから川上で溢れさせる事は町田市で受け入れることはできません。一刻も早く藤沢市街地の流下能力増加の対策を進めるよう、東京都を通じて強く働きかけていただきたい。

【回答】

下水道部長

境川の整備は、おおむね30年以上かかる長期的な計画となっており、「境川水系流域治水プロジェクト」に基づいて、短期、中期、中長期にかけて段階的に進められております。

現在、境川は、東京都管理区間では50mm規模の降雨に対応する河川護岸は整備済みですが、鶴間小学校付近の鶴瀬橋から下流の神奈川県管理区間において、相鉄線との交差部や藤沢橋周辺で川幅が狭くなっている箇所があるため、流下能力がおおむね30mmとなっております。相鉄線との交差部においては、改修工事を2023年度に着手し、2029年度の完成に向けて事業が進められております。藤沢橋周辺では、市街化が進んでおり川幅を拡幅することが困難のため、河床掘削による流下能力の強化を進めています。また、根本的な解決に向けて、バイパストンネルの整備を含め現在対策を検討していると神奈川県から伺っています。

今後数年の短期の計画につきましては、根岸橋から馬場橋上流まで約3kmの区間の護岸整備を重点的に進める予定で、2033年度までの完了を目指しています。今年度は、忠生・小山地区の馬場橋下流、常矢橋下流及び両国橋下流において護岸改修を進めております。

東京都は下流側である神奈川県管理区間の河川整備が進まないため、上流側の町田市周辺の安全性を早期に向上させるため、河川調節池の先行整備を行っています。

現在、工事を進めている「境川金森調節池」と「境川木曾東調節池」については、2026年3月の取水開始を目指していましたが、境川金森調節池については遅れが生じていると聞いています。

完成すると合わせて20万m³の貯留量となる予定です。

また、これらに加え、木曾中学校付近の旧河川敷に新たな調節池となる「境川木曾西調節池」を事業化し、現在、設計を進めております。

境川の整備促進のために、市といたしましては、今年の5月と7月に神奈川県各地方管理事務所、10月には神奈川県県土整備局河港課に対して2024年度の整備状況の確認や境川の早期整備を要請いたしました。

なお、11月19日には東京都建設局河川部計画課を訪問し、東京都からも神奈川県に対して境川の整備の推進を強く働きかけていただくよう要望してまいります。

《質疑》

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

昨年、秋に境川の貯水池をはじめ、藤沢の河口辺りまで見学をさせていただきました。いろいろまだ課題、問題はあるかと思いますが、境川の洪水対策については全ての人が満足まではいきませんが、進んでいることだけは知っておいてほしいと思います。

原町田一丁目町内会

私の家の前は青空ひろばという公園になっています。市長さんにもいろいろ質問させていただいたのですが、ここは東京都の土地だとして説明をいただきました。東京都の土木事務所があるところで、洪水、7月9日の警報が出たときに、私も町内会長として責任があるので、避難する必要があるかどうか、川のほうまで見に行ったのです。確かに喫水線というか、黄色いところまで来ていたのです。そこで警報が出たと私は理解したのですが、ちなみに境川の町田市内で警報を出す測量場所が何か所あったのかお願いします。

下水道部長

すぐ分かりませんので、申し訳ないですが、後日、確認をしてお答

えをさせていただきます。

原町田一丁目町内会

私も仕事柄、境川は末端までしょっちゅう自転車で行動していて、この辺の状況は工事しているなどかよく分かっているのですが、金森のほうで大分水が抜けるように大きくされたのです。子どもたちが雑草の中でも遊んでいます。ああいう広場がもっと欲しいと思います。

金森一丁目町内会

全体についての要望ですが、いろいろなことに関して、何年までにこういう予定であるというのが先ほどからいろいろなところで回答で伺っています。ただ、一瞬で何年までというのは聞き逃されてしまいますので、パワーポイントがせっかくありますので、これについては、この計画が何年までにこういう予定であるということをパワーポイントで出していただきたいと思うのです。いちのいちのこともそうですし、モノレールのこともそうでした。今の河川の工事に関してもそうです。何年までに、こういうふうにでき上がる予定であるということを出していただくと、聞いているほうとしては非常に分かりやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

下水道部長

おっしゃるとおり、口頭だけの説明だと分かりませんので、せっかくパワーポイントがありますし、案内図はつけさせていただいていますが、年度計画が決まったものについてはお出しして、目でも確認できるようにしたいと考えています。よろしく願いいたします。

4 空き家対策

全国的に空き家が増加する中、適切な管理が行われていない空き家が町田市にもあると思われます。聞くところによるとゴミ屋敷もあることを耳にしておりますが、近隣の生活環境(防火、防災、美化)に悪影響を与えている恐れがあります。

2023年12月に空き家対策の特別措置法の改正が発表されております。町田市でも空き家対策についても条例を制定し、対策がとられているとは思いますが、この特別措置法の改定に対応した見直しはどうなっているのでしょうか？現状を教えてくださいたくお願いします。また近所に問題がある空き家がある場合、我々住民(近隣住民)はいかにしていけばいいかご教示お願いをしたい。

【回答】

都市づくり部長

空き家対策についてお答えします。

町田市には、2024年10月末時点で、管理状況が悪く市が改善を促している空き家が約480件あります。全国でも空き家が増加傾向にあることから、その対策を強化するため、2023年12月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部を改正する法律が施行されました。

改正後の空家特別措置法では、そのまま放置すれば、倒壊等著しく保安上危険となる状態や、著しく衛生上有害となる状態などに該当する「特定空家等」になるおそれのある空き家を新たに「管理不全空家等」として定め、市が指導や勧告の措置ができるようになりました。空き家所有者が勧告を受けると、固定資産税等の住宅用地特例が解除され、税額が上がることとなります。

この法改正に基づく市の対応として、これまでは、「特定空家等」について、どのような状態であれば該当するのかの判断基準を作成しておりましたが、新たに定められた「管理不全空家等」についても、同様に国のガイドラインに基づき判断基準を作成し、ホームページで公表しました。

また、従来から定められていた「特定空家等」の指導や勧告及び命令の措置を行う際、空家等対策審議会に諮問して専門家の意見を聴くこととしておりましたが、これに加え、新たに定められた「特定空家等」の予備群とも言える「管理不全空家等」についても「町田市空家等の発生の予防、適切な管理及び活用の促進に関する条例」を改正し、指導や勧告の措置を行う際には空家等対策審議会に諮問して専門家の意見を聴くことに改め、「管理不全空家等」に該当するか、適正に判断することができるようにしました。

さらに、制度改正を周知するため、2024年1月時点で対応中の約330名の空き家所有者に対して、制度内容及び適正管理を促す通知文を送付しました。

次に、近所に問題のある空き家がある場合、「住民はいかにしていけばいいか」についてお答えします。

空き家等の管理は、その所有者の責務であり、適切な管理が行われず、空き家等が周辺に危害を及ぼした場合、その責任は原則として所有者が負うこととなります。

市では、管理状態が悪い空き家に関する通報を受け付けております。樹木が越境していたり、建物が倒れそうなどの管理状態が悪い空き家については、通報受付後、必要に応じて現場を確認した上で、市から所有者等へ改善を促す通知を送付しております。

また、隣接住民が自らできることとして、2023年4月施行の改正民法では、越境されている土地の所有者が、隣地の所有者に越境した枝を切るように手紙等で催告をして、相当の期間内に切らない場合、枝を切り取ることができるようになりました。

この場合、トラブルを避けるために事前に弁護士等に相談することをお勧めしています。市でも無料の法律相談を行っておりますので、必要に応じてご利用ください。

空き家等でお困りのことがありましたら、都市づくり部住宅課へ遠慮なくご相談ください。

《質疑》

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

我々住んでいる人にすれば、隣が空き家になって困っています。早く市の相談窓口に連絡していただき、事故、事件が起きる前に相談することがよかろうと思っています。

5 公園樹木の病虫害対策について

北部丘陵の森林地帯や公園緑地においていわゆるナラ枯病による雑木林の大量の樹木の病虫害による枯れ木が発生しています。昨年、一昨年の市政懇談会においても公園緑地課による対策が報告されましたが、改善されていません。ナラ枯病の発生した雑木は早急に伐採することしか被害の拡大を防ぐ事ができません。早急な被害対策を講じるようお願いいたします。

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

まず、ナラ枯れですが、「ナラ菌」によって、コナラやクヌギ、シラカシ等の、ブナ科のナラ類が枯れる樹木の伝染病でございます。

この「ナラ菌」は、「カシノナガキクイムシ」という体長5mm程度の小さな昆虫が樹木を食べて潜り込み、持ち込む細菌でございます。

ナラ枯れは、日本で古くから知られておりましたが、これまでは主に本州の日本海側の一部の地域で発生しておりました。

公園・緑地のナラ枯れの現状につきましては、2019年度の被害は数本しか報告されておりましたが、2020年度には、市内全域での被害が確認され、2021年度は、市民や公益的活動団体からの情報提供や、公園の実数調査から約4000本と推計しております。

また、公園・緑地のナラ枯れ対策につきましては、倒木による被害を未然に防ぐため伐採を行うとともに、伐採した樹木につきましては、樹木の中に入り込んでいる「カシノナガキクイムシ」ごと処分するため、焼却処分を行っております。

伐採の状況については、2021年度は166本の伐採を行い約1700万円、2022年度は263本の伐採を行い約2700万円、2023年度は282本の伐採を行い約2900万円の費用がかかりました。2024年度も、

約290本の伐採を約3000万円で行う予定でございます。

今後も、公園利用者や散策路、近隣住宅に被害が及ぶおそれがあるナラ枯れ樹木を優先的に伐採してまいります。

《質疑》

(司会) 町内会・自治会連合会会長代行

ナラ枯れ等が見られたら、早く対応していただくように情報を入れていただきたい。どうぞよろしくお願いいたします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

去年はこのぐらいでもう閉会の時間になったのですが、延長していただいたので、私のしゃべる場面が出てきました。時間内にやるのは無理ですので、飛ばしてやります。よろしくお願いいたします。

まず、東京都立児童相談所、現在は八王子にあって、八王子、日野、町田の3市を所管していますが、あまりに管轄が広いので、来年6月以降分割になり、都立町田児童相談所がスタートすることになりました。山崎保育園の隣に来年6月以降にスタートいたします。

次に、小中学校の給食費についてです。今年4月から第2子以降、つまり2人目のお子さん以降が学校給食費は無償化になりました。今回の市政懇談会を各地でやっている途中で、全員無償化という方針になりました。というより、東京都が全員無償化をしてくださいということで市町村に費用の8分の7を負担することを、小池知事から聞きましたので、この12月に関連予算を計上しまして、来年の年明けから公立の小中学校の給食費が無償になります。今行っている銀行引き落とし等は全部なくなってしまうということでもあります。来年の4月になったらまた有料になるというわけではなくて、4月以降も2025年度予算で小中学校の給食費を無償化する費用を組むことにしております。

次です。中学校全員給食が始まりました。既に堺中学校で始まっています。金井のスポーツ広場のところに整備中でもうほぼ完成していますが、年明けから全員給食が鶴川エリアで始まります。資料に書いてありますが、西は小山中学校の小山エリア、忠生エリア、そして町田エリアの中学校は、来年の新学期、4月から全員給食が始まります。ここについては、給食センターは山崎団地の中に既に廃校になった旧忠生第六小学校の土地がありまして、その土地の半分は、この後説明します木曾山崎パラアリーナとして整備するのですが、その残りの半分が町田忠生小山エリアの中学校給食センターの整備工事で進めていくということでございます。最後に全員給食が開始するのが南エリアです。これは来年の9月、1年近く先ですが、下水処理場、成瀬クリーンセンターに近

接して整備をしています。ここが最後になります。2025年度中には市域全域中学校で給食が実施されるということです。

続いて、特別養護老人ホームの話ですが、今のところ、2023年度の実績では92%の人が申し込んで1年以内に特養に入っています。ここは普通ではないと思っている方もいらっしゃると思いますが、こういう市はほとんどありません。青梅とかあきる野は別として、立川から東は、普通で言う2年3年待つのは当たり前、23区は2年3年たっても入れません。23区の場合は茨城、栃木、群馬に入ることにになります。地価が高くて特養は立地できない事情がありまして、東京都の方は皆さん、栃木とか茨城の特養に入所されています。といっても昔から山形とか秋田でも、かなり首都圏の高齢者の方の特養を立地して、前から始まったことですが、私ども町田市の場合は市内で入居ができる。それも半年あるいは1年で入居できますが、いい話はニュースになっていません。

次に、香山園（かごやまえん）が来年1月25日に開園します。ここは昔、お灸点と呼んでいたところで、お灸をやっていたところです。ものすごい数の人がここに毎日来ていました。今はもうお灸はやっていませんが、私自身は鶴川出身なので、香山園と言われてもどこだか分からない、お灸点なら分かる。鶴川駅前から歩いて4～5分のところにあります。ここに日本庭園とお茶席とか宴会ができる建物があります。そこが25日にオープンします。

それから、スポーツ公園のことです。先ほどの西田金森調節池上部、ここに公園ができるのですが、この公園、2028年度開園になります。その下に木曾東調節池上部、これも多分何とかかなると思いますが、広場になります。

その下のスポーツ公園ですが、忠生スポーツ公園を1年ほど前に開設しまして、かなりの人気で、行った方は分かると思うのですが、予定より駐車場利用の方が多く、いつも満車になっています。遠くからここに来ている。「町田シバヒロ」は皆さんご存じかもしれませんが、前の市役所の跡地が芝生広場になっているのですが、あれの2倍ぐらいの広さがありますので、かなりの人気で遠方から来るものですから、駐車場が足りなかったかなと思っています。

次に木曾山崎パラアリーナ、先ほどお話ししましたが、町田地区の中学校給食センターの残り半分、旧忠生第六小学校の残り半分が木曾山崎パラアリーナの土地ということで今、事業を進めています。まだ契約に至っていませんが、契約が成立すれば、27年度末に完成する予定です。パラアリーナというのは、パラスポーツの優先利用の体育館です。体育館は、もちろん類似も含めて予約を取るのに競争になってしまってなかなか入れないのですが、障がい者スポーツの団体の方からは、何とか優先する場所をとるという要望をいただきまして、3年前、パラリンピックのときに随分お話がありまして、東京都内には1か所既にあります。1か所あるのはパラアリーナなのですが、日本財団、笹川さんという人がやっている財団ですが、日本財団の船の科学館が品川の辺りにあるの

ですが、その隣にパラアリーナというのがあります。パラアリーナという名前は登録されていまして、そこの承諾を得てこの名前を使っています。勝手に使うわけにいかないのですが、パラアリーナという名前を使っています。したがって、東京都内で2番目になります。もちろん、予約が入っていないところは障がい者スポーツではない人も使えますが、まずは障がい者スポーツの方が使うという東京都で2番目の場所になります。

次に、(仮称)国際工芸美術館の整備です。ここは来年の年明けに工事が始まる予定です。既に入札も終わっております。1つ飛んで、公園内にエレベーターを造る計画が進んでいまして、あと数か月で実施設計も終わりますので、工事に入ります。26年度にはエレベーターができます。今、原町田四丁目のほうから行って音楽座を過ぎたところで、左に栈橋を造って、そこから下へ下りてもらって、そこに17~18mの高低差をクリアするエレベーターを工事します。あの公園は谷間にあるものですから、谷間にあるので行きはよいよいですが、帰りが結構きついで、エレベーターを造ってくださいという要望が結構ありましたので、そこにエレベーターを造ることになりました。美術館に来た人たちにとっても、公園に遊びに来た人たちにとっても、帰りがしんどいということで足が遠のいてしまっただけとはいけないということで今計画を進めております。

続いて、鶴川駅前開発です。まず、北口駅前交通広場、法律上は道路なのですが、交通広場を造っている最中です。2027年度に交通広場が完成します。今、2024年度ですから2027年度まで3年ぐらい、かなり不便な状況になっています。私も、あそこのスーパーに行くのですが、スーパーで買い物をすると、ぐるっとかなり回らないとバス停にたどり着かないということになって、あれが3年続くと大変だなと。買い物した後の袋が結構重いのに、ぐるぐる回るので、余談ですが、マルエツからは売上げが減っていて何とかならないかと言われているのですが、補償はしませんと答えてあります。不便を来していますが、将来はデッキで2階へつながるので便利になりますが、3年我慢をいただきたいということです。

その次は熱回収施設の話ですが、ここは2022年1月に稼動しました。資源ごみの施設は、今、先行してやっているのは相原地区の大戸という場所ですが、そこにビンとカンとプラスチックその他の施設、いわゆる中間施設を建設しようとしています。ただ、全部土地が買い切れていませんので、28年度完成予定ですが、日を追うにつれて28年度にできるかなと微妙なところに来ています。もう1か所は上小山田、それも大分先のほうに計画しておりますが、そちらはもう少し遅れるかなと思います。

実は、再来年の4月から市域全域がプラスチック分別になります。今、横浜線の南側の南地区の方にはご面倒をかけていますが、プラスチック分別をやっていただいております。しかし、26年4月にはプラスチック分別が全域に広

がります。したがって、来年度、2025年度になりますと、今日ご出席の皆さん方のご協力を得て、住民の皆さんに宣伝のお手伝いをいただきたいと思えます。

説明会とかいろいろなものをやりますので、何が分別で、何が一般ごみか、結構面倒くさいといえれば面倒くさいのです。中に入って取れないマヨネーズの袋はどちらだとか、多分プラスチックではなくごみのほうなのです。紛らわしいのは、プラスチックでできている製品はだめなのです。例えばプラスチックのバケツ等は容器包装ではないので、プラ製品は回収しません。プラスチックだから分別ではないのです。容器とか包装のものは分別です。ここが面倒くさくて、私が面倒くさいと言ってはいけないです。分かりにくいところがあります。皆さん、役員の方に最初に勉強していただいて、聞かれたら答えられるようにしていただきたいと思えます。今でも南地区はやっていますが、かなりそうではないものが袋に入っているのです。ちなみに袋はピンクになります。黄色の袋の半分で購入していただきます。基本的にプラスチックは週1回になります。

今、実は別の問題がありまして、週6日収集していますが、将来は週5日収集にしようと思っています。実際にごみ収集の担当の人たちは週休2日に既になっています。週休2日になっているのですが、市役所でやるごみ収集は週6日ですので、収集する人たち、運転手も含めて結構大変なので、将来は週5日にしないといけないかと思っています。プラスチックの分別が始まりますというお話です。

最後に、さっきデジタル化の話でありましたが、今、幼稚園とか保育園等の申込み、学童保育クラブも全部スマホになっています。スマホで申し込んで、スマホでオーケーが出て、スマホで保育料を払う、スマホで学童保育クラブのお金を払うというふうになっています。市役所に対する申請書類は、ほとんど全部スマホでできるように切り替わりました。そういう意味では申請の手間はかからないし、しかも市役所に来る必要もないことになりました。そういう時代になりましたので、私どもとしては、いろいろな手続のことは地域で、あるいは私どもで直接研修とか講習をやっていますので、スマホを使いにくい方は市民協働のほうに連絡をいただければ、ご案内をさせていただきます。

《質疑》

市民協働推進担当部長

町田市全体の話になるので、相当急いではいたのですが、お時間がぎりぎりになってしまいました。何点かはしよったところあったかと思えます。今、説明がなかったところ、確認したいところがありましたら、挙手をお願いします。

原町田五丁目町内会

今日配られました印刷物、2024年度市政懇談会要望書というのがあります。これの1番にモノレールの早期実現、今日の議題にもなりましたが、ここに2021年度にルートが決定しと書いてありますが……。

市民協働推進担当部長

お時間がないので、今、市政報告の中で申し上げたなかで、はしょったものがあって、その部分を聞きたいということであればお願いしますということで今申し上げましたので、議題のお話はさっきのところでおしまいになっているので、申し訳ないのですけれども、お時間の都合上、また別の機会にお願いいたします。

申し訳ありませんが、お時間が来てしまいましたので、最後に閉会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

○閉会の挨拶（町田市町内会・自治会連合会副会長）

